



がっこうだいすき 杉っこ通信

杉の子特別支援学校だより

平成28年1学期号

6月15日(水)発行

杉の子特別支援学校本校では、鈴鹿市立加佐登小学校や鈴鹿市立井田川小学校と学校間交流を行っています。地域の学校とのかかわりを通して、たくさん子どもたちと過ごし、お互いの理解やつながりを深めるため、活動に取り組んでいます。今回は、友だちとのかかわりを楽しんだ学校間交流についてご紹介します。

小学部 学校間交流

加佐登小学校

5月25日(水)に、加佐登小学校と学校間交流を行いました。バスが校門をくぐると、たくさんの加佐登小学校の子どもたちが、「こんにちは」と手を振って出迎えてくれました。

2年生は、音楽室で手遊びやリトミックに取り組んでいる「わらうんだWA」を一緒に楽しみました。3～6年生は、体育館に集まって、元気に「さんぽ」を歌い、ゲームやダンスを行いました。最初は緊張していた子どもたちですが、楽しい雰囲気になまって、少しずつ表情が和やかになっていきました。

ボールをまわせ！



さんぽ



わらうんだWA

井田川小学校

6月3日(金)に、井田川小学校で各学年に分かれて交流を行いました。バスから降りると、井田川小学校の子どもたちが運動場で待っていて、教室や体育館まで案内をしてくれました。1年生は初めての学校間交流でしたが、思い思いに活動を楽しみました。良いお天気だったので、広い運動場や遊具でたくさんの友だちと一緒に遊びました。「また来てね」と声をかけてくれる子もいて、笑顔いっぱいの見送りでした。

新聞紙あそび



フランク楽しいな！



毛布ルー



わらうんだWA



< 中学部 > 白鳥中学校との交流

中学部ではお隣にある白鳥中学校と学校間交流を行っています。同世代の生徒たちが、ともに活動し、触れ合う中で交流を深め、互いに学びあうことを目的に、今年も年間5回の交流を計画しました。

5月31日（火）、その一回目の交流が、杉の子特別支援学校の体育館で行われました。今年は、司会・進行も含め、生徒たちが主体的に取り組む場面が多くあり、対面式では、お互いの代表がいさつを行った後、りんご・バナナ・メロンの3つのグループに分かれて自己紹介を行いました。恥ずかしくてペアの生徒を見られない人もいましたが、あったかい雰囲気の中で会は進み、フラフープを使ってのペアリレーでは、さっきまで遠慮がちだった生徒も積極的にペアの生徒と力を合わせて走る姿が見られました。最後に6月7日（火）の白鳥中学校体育祭での再会を約束し、たいへん盛り上がった交流会は終わりました。



何年生？
（チームごとに自己紹介）

「りんご」「バナナ」
「メロン」のチームに
分かれてのリレー！



ゴールまでもう少し！
（みんなで声をかけ合って走りました。）

平成28年度 白鳥中学校との交流予定

- | | | |
|-----|-------|------------------------------------|
| 第1回 | 5/31 | 対面式・ゲーム（杉の子） |
| 第2回 | 6/ 7 | 白鳥中学校体育祭参加 |
| 第3回 | 10/ 4 | 共同作品制作（杉の子）
（※10/28 白鳥中学校文化祭見学） |
| 第4回 | 11/25 | 秋の散策（学校周辺） |
| 第5回 | 3/ 3 | ゲーム交流（杉の子） |

<高等部> **1学期の学習紹介**

高等部は新入生2名を迎え、病棟からの通学生6名と病棟訪問生2名の計8名となりました。

新年度が始まって約2ヶ月が経ち、8名とも高等部の学校生活になじんできたところです。

入学式の日



5月の校外学習では、今年も亀山サンシャインパークへ出かけました。みんなでウォーキングコースをゆっくり散策しながら、池の上空を泳ぐこいのぼりやウォーターガーデンの花ショウブを見たり、食事のあと、店内の見学や買い物をしたりして、自然の中でいつもと違う体験をしてくることができました。



こいのぼりに歓迎されたような気分でした！



ウォーキングコースを散策。風がさわやかで気持ちよかったです♪



学校環境デイの取り組みとして、リサイクル活動に初挑戦しました。リサイクルについての話を聞いた後、電動の空き缶つぶし機に空き缶を入れ、ペしゃんこにスクラップされて出てくる様子を見ました。機械に手が届かない生徒は、棒を使って缶を転がし入れました。



7月には、石薬師高校ボランティア部生徒さんとの交流を予定しています。

<石 薬 師 分 校>

★ ジュニアサミット参加者へのプレゼント！ ★

伊勢志摩サミットに先駆けて三重県では4月22日から28日の日程でジュニアサミットが開催されました。石薬師分校の生徒と同じ世界各地から参加した高校生が、「次世代につなぐ地球 環境と持続可能な社会」というテーマで話し合い、様々な視察交流行事に参加しました。

その中で、参加者が、必ず首からさげていたID（名札）のループ部分は、石薬師分校の生徒が日頃の学習で取り組む三重県伊賀上野地域の伝統工芸である「組紐」で作りました。糸はこれも日本をイメージさせる絹糸を使用し、組み方は「金剛組み」と「平源氏組み」と呼ばれる組み方で製作しました。

昨年度末の2月から3月中旬までの職業の授業で「組紐班」の2年生5名と作業経験のある3年生6名も途中で助っ人で参加し20本ほど作り上げることができました。作業には「使用する分の糸束を作る」生徒、「紐を組む」生徒に分かれ取り組みました。製作中はそれまでの作業経験を活かしつつより正確さを求められることや、外国の高校生にも使用してもらうということで緊張感をもって取り組んでいる様子が表情から窺うことができました。また初めて目にした絹糸の艶やかさに楽しみながら製作していました。製作期間が短くハードなスケジュールでしたが、生徒にサミットの新聞記事の写真などを紹介すると自分の作ったものが大きな舞台で使われているということを実感でき自信につなげることができたようです。実りある取り組みでした。



★ スクールバス1台が大型になりました！ ★

年々、増加する生徒数に対応するため、昨年度までくわな特別支援学校で利用していた大型のスクールバス1台が杉の子特別支援学校のスクールバスに変更になりました。また、それに伴って、バスコースも見直され、石薬師分校には、この大型バスの「分校バス」と「白バス（亀山コース）」と「緑バス（中央コース）」の3台が乗り入れることになりました。

大型バスについては、学校での乗降場所も生徒昇降口横に設けられました。バスが大きいため、正門を出入りする際は、送迎の保護者の方などにも協力してもらっています。また、今年度から放課後ディサービスのお迎えの車も多くなり、現在、12施設がお迎えに来ていただいています。

バスが大型化したことに加えて、短い時間に多数の車が出入りしますので、お迎えの保護者の方にもご迷惑をおかけすることもあると思いますが、生徒の安全には細心の注意を払っていききたいと思います。

